

## 遺言書

遺言者 正岡子規 は、この遺言書で次のとおり遺言する。

余は今まで禅宗のいはゆる悟りといふ事を誤解していた

悟りといふ事は 如何なる場合にも

平気で死ぬる事かと思っていたのは間違ひで

悟りといふ事は 如何なる場合にも

平気で生きている事であつた

明治参五年六月弍日

病床六尺にて

正岡子規 印

新聞『日本』読者 各位

※ 引用参照

随筆集 病床六尺 正岡子規著 岩波文庫 より